

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 2019年11月14日

【四半期会計期間】 第30期第3四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 株式会社TRUCK - ONE

【英訳名】 TRUCK-ONE CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小 川 雄 也

【本店の所在の場所】 山口県下松市生野屋南三丁目3番40号

【電話番号】 0833 - 44 - 1100(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 眞 崎 高 利

【最寄りの連絡場所】 山口県下松市生野屋南三丁目3番40号

【電話番号】 0833 - 44 - 1100(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 眞 崎 高 利

【縦覧に供する場所】 証券会員制法人福岡証券取引所

(福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号(福岡証券ビル))

(注)第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第3四半期 連結累計期間	第30期 第3四半期 連結累計期間	第29期
会計期間	自 2018年1月1日 至 2018年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2018年1月1日 至 2018年12月31日
売上高 (千円)	3,128,681	3,616,752	4,239,810
経常利益 (千円)	29,615	67,381	61,877
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	16,942	51,432	44,181
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	15,919	51,005	35,179
純資産額 (千円)	634,104	692,644	653,633
総資産額 (千円)	3,414,677	3,451,750	3,393,418
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	7.06	21.44	18.42
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	18.6	20.1	19.3

回次	第29期 第3四半期 連結会計期間	第30期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.79	1.80

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)の事業の内容について、重要な変更はありません。なお、主要な関係会社における異動は以下のとおりであります。

持分法適用関連会社であった株式会社FE-ONEは、保有する全株式を売却したことにより、2019年12月期第2四半期連結会計期間より持分法適用の範囲から除外しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を2019年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

（1）経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、貿易摩擦問題の深刻化や海外経済の減速の影響を受けて、生産・輸出の弱さが続いており、製造業を中心として景況感を下押しする形となりました。また、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題及び消費税率引き上げの反動による国内消費の落ち込みへの懸念等、依然として先行きに関して不透明な状況が続くと見込まれます。このような状況の下、当社グループの主力事業である商用車関連事業は、消費税増税に伴う駆け込み需要が追い風となり、事業用車両の販売が堅調に推移した結果、増収増益となりました。運送関連事業につきましても、子会社である株式会社T.L.Gと丸進運油株式会社が行っており、一般貨物輸送及び石油製品輸送の受注が堅調に推移したこと及び運送業務のコスト低減により、増収増益となりました。その他に、当社保有の株式会社FE-ONEの株式の全てを売却したことにより、特別利益として関係会社株式売却益38,202千円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績としては、売上高3,616,752千円（前年同期比15.6%増）、営業利益48,648千円（前年同期比261.4%増）、経常利益67,381千円（前年同期比127.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益51,432千円（前年同期比203.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

商用車関連事業

事業用車両の販売が引き続き好調に推移しており、商用車関連事業の売上高は3,039,886千円（前年同期比18.2%増）、セグメント利益は23,482千円（前年同期比20.3%増）となりました。

運送関連事業

一般貨物輸送を中心とした受注が好調に推移したことにより、売上高は576,865千円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益は20,968千円（前年同期はセグメント損失11,689千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は3,451,750千円となり、前連結会計年度末に比べ58,332千円の増加となりました。このうち流動資産は147,488千円増加して2,465,515千円となりました。主な要因は現金及び預金が233,128千円、商品及び製品が65,565千円増加し、受取手形及び売掛金が126,085千円減少したことによるものです。また固定資産は89,156千円減少して986,235千円となりました。主な要因は繰延税金資産が9,455千円増加し、投資有価証券が95,676千円減少したことによるものです。

(負債の状況)

負債合計は2,759,105千円となり、前連結会計年度末に比べ19,321千円の増加となりました。このうち流動負債は62,300千円増加して2,633,379千円となりました。主な要因は短期借入金92,000千円、未払金が14,259千円、未払法人税等が55,376千円増加し、支払手形及び買掛金が90,047千円減少したことによるものです。また固定負債は42,979千円減少して125,726千円となりました。主な要因はリース債務が42,724千円減少したことによるものです。

(純資産の状況)

純資産合計は692,644千円となり、前連結会計年度末に比べ39,010千円の増加となりました。主な要因は利益剰余金が39,438千円増加したことによるものです。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、経営方針・経営戦略等に重要な変更及び新たに定めた経営方針・経営戦略等はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,208,000
計	10,208,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,552,000	2,552,000	福岡証券取引所 (Q-Board市場)	単元株式数 100株
計	2,552,000	2,552,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日		2,552,000		97,725		42,125

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 153,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,398,900	23,989	
単元未満株式			
発行済株式総数	2,552,000		
総株主の議決権		23,989	

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株)TRUCK-ONE	山口県下松市生野屋南3-3-40	153,100		153,100	6.00
計		153,100		153,100	6.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、ACアーネスト監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	194,778	427,907
受取手形及び売掛金	332,898	206,812
商品及び製品	1,748,748	1,814,314
原材料及び貯蔵品	2,804	5,356
その他	39,499	11,817
貸倒引当金	703	693
流動資産合計	2,318,026	2,465,515
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用資産(純額)	112,830	122,446
土地	411,588	411,588
その他(純額)	350,775	336,277
有形固定資産合計	875,195	870,313
無形固定資産合計	12,314	9,622
投資その他の資産		
投資有価証券	122,879	27,203
破産更生債権等	1,189	-
繰延税金資産	17,641	27,097
敷金及び保証金	21,927	22,363
その他	25,257	29,635
貸倒引当金	1,014	-
投資その他の資産合計	187,881	106,298
固定資産合計	1,075,391	986,235
資産合計	3,393,418	3,451,750
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	836,240	746,192
短期借入金	1,558,000	1,650,000
リース債務	47,168	45,106
未払金	98,788	113,048
未払法人税等	1,576	56,952
賞与引当金	1,009	10,187
その他	28,295	11,891
流動負債合計	2,571,079	2,633,379
固定負債		
リース債務	136,593	93,869
長期未払金	1,408	177
退職給付に係る負債	30,702	31,679
固定負債合計	168,705	125,726
負債合計	2,739,784	2,759,105

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	527,701	567,139
自己株式	14,481	14,481
株主資本合計	655,900	695,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,267	2,694
その他の包括利益累計額合計	2,267	2,694
純資産合計	653,633	692,644
負債純資産合計	3,393,418	3,451,750

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	3,128,681	3,616,752
売上原価	2,771,012	3,208,639
売上総利益	357,668	408,112
販売費及び一般管理費	344,206	359,464
営業利益	13,462	48,648
営業外収益		
受取利息	47	38
受取配当金	701	7,309
受取保険金	597	5,697
保険解約返戻金	529	519
持分法による投資利益	15,967	4,468
その他	3,755	7,013
営業外収益合計	21,599	25,047
営業外費用		
支払利息	4,923	4,578
その他	523	1,736
営業外費用合計	5,446	6,314
経常利益	29,615	67,381
特別利益		
固定資産売却益	399	-
関係会社株式売却益	-	38,202
特別利益合計	399	38,202
特別損失		
固定資産除却損	-	2,119
役員退職慰労金	5,000	-
特別損失合計	5,000	2,119
税金等調整前四半期純利益	25,015	103,464
法人税、住民税及び事業税	1,969	61,267
法人税等調整額	6,103	9,235
法人税等合計	8,073	52,031
四半期純利益	16,942	51,432
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,942	51,432

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	16,942	51,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,022	427
その他の包括利益合計	1,022	427
四半期包括利益	15,919	51,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,919	51,005
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

2019年12月期第2四半期連結会計期間において、株式会社FE-ONEの全株式を売却したため持分法適用の範囲から除外しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を2019年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
減価償却費	105,902千円	110,713千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年3月20日 定時株主総会	普通株式	5,997	2.50	2017年12月31日	2018年3月22日	利益剰余金
2018年7月17日 取締役会	普通株式	5,997	2.50	2018年6月30日	2018年9月3日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月20日 定時株主総会	普通株式	5,997	2.50	2018年12月31日	2019年3月22日	利益剰余金
2019年7月16日 取締役会	普通株式	5,997	2.50	2019年6月30日	2019年9月2日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	商用車 関連事業	運送 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,571,989	556,691	3,128,681		3,128,681
セグメント間の内部売上高 又は振替高	96,468	21,807	118,276	118,276	
計	2,668,458	578,499	3,246,957	118,276	3,128,681
セグメント利益又は損失()	19,515	11,689	7,825	5,636	13,462

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額5,636千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	商用車 関連事業	運送 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,039,886	576,865	3,616,752		3,616,752
セグメント間の内部売上高 又は振替高	82,441	30,384	112,826	112,826	
計	3,122,328	607,250	3,729,578	112,826	3,616,752
セグメント利益	23,482	20,968	44,450	4,197	48,648

(注)1 セグメント利益の調整額4,197千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	7円06銭	21円44銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	16,942	51,432
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	16,942	51,432
普通株式の期中平均株式数(株)	2,398,900	2,398,900

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第30期(2019年1月1日から2019年12月31日)中間配当につきましては、2019年7月16日開催の取締役会において、2019年6月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	5,997千円
1株当たりの金額	2円50銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年9月2日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月8日

株式会社TRUCK - ONE
取締役会 御中

ACアーネスト監査法人

代表社員 業務執行社員	公認会計士	和田 治郎	印
代表社員 業務執行社員	公認会計士	大森 浩二	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社TRUCK - ONEの2019年1月1日から2019年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社TRUCK - ONE及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。